



報道で紹介された美瑛高校 04

◆令和5年6月11日(R5. 6. 17 びえい新聞)

暑い中、ヘルシーマラソンが行われました。全校生徒のボランティアの活躍もあり、笑顔で大会を終えることができました。選手の皆さん、役員の皆さん、生徒の皆さん、先生方、本当にお疲れ様でした！

道内外からの3210人が笑顔でスタート 青空に響くヘルシーマラソンの号砲



快晴に恵まれた6月11日、「丘のまちびえいヘルシーマラソン」が開催。今年は道内外から多くの参加があり、各種目合わせて3593人がエントリー。メイン会場の丸山運動公園陸上競技場は、多くの人々で賑わった。開会式では、今年も特別ゲストの増田明美さんが「暑いので早めの給水を。疲れてくる

後半は、腕で走ること。元気にはりきって行きましょう」と明るい声でランニングアドバイザー。美瑛野球少年団の6人が「感謝の気持ちを忘れず走ることを誓います」と力強く選手宣誓。今年は美瑛中学校の吹奏楽部の生演奏が4年ぶりに復活、華やかな演奏で会場を盛り上げた。スタート時間の午前10時の気温は21.4度。その後、徐々に日差しが強さを増し、午後12時過ぎには最高気温25.2度を記録。気温が上がり、日差しも強いコンディションとなったが、給水所や

ゴールでは、美瑛高校の生徒たちが総出で活躍。笑顔で大会を支えた。陸上自衛隊上富良野駐屯地第14施設群の隊員も、選手たちの誘導や安全確保などで大会をサポートしている。3593人のエントリーのうち、当日スタートした人数は3210人。無事にゴールしたのは3191人で完走率は99.4%となった。ハーフの部での総合優勝は、一般男子39歳以下の部の三宅陸

斗さん(帯広市)でタイムは1時間12分21秒。女子は40歳以上の部の江崎忍さん(釧路市)で1時間22分7秒となっている。上位陣の快走に一方で、今年も着ぐるみやコスプレなどで沿道の人々を楽しませながら走った選手たちもいるなど、自分のペースで走り切った選手たちの顔には笑顔。ワンエイツを走った増田明美さんや、マスコットキャラクター「かけ丸君」もコース途中で選手たちを

応援。沿道では多くの町民も声援を贈っており、選手たちを励ました。家族連れの参加者も多く、走り終えた後は競技場の芝生でピクニック気分ですと休み。今年は会場の一角に、商工会女性部・青年部の飲食テントが設置、盛況を見せつけた。なお大会の様子は札幌テレビ放送(STV)の6月17日午前9時25分から30分間の特別番組で放送が予定されている。

美瑛産の手作り料理で参加者をおもてなし 4年ぶりの交歓会でおいしいと笑顔

ヘルシーマラソンの競技を前に、前日の6月10日にはスポーツセンターで4年ぶりとなる交歓会が開かれた。婦人連絡協議会の女性陣が、美瑛産の農畜産物などをふんだんに使った様々な手作り料理を提供。大好評を得ているもので、参加者は美瑛産のおいしさをたっぷり味わった。STVの喜瀬ひろしアナウンサーが司会を務めた交歓会では、選手として参加する来賓の2人があいさつ。ハーフに出場する陸上自衛隊上富良野駐屯地第14施設群の川端純一隊長は「隊員38人が円滑に支援していく」と支援体制を説明

昨年のワンエイツから距離を伸ばし今年もクォーターを走る北海道議会の今津寛史議員は「走る人も応援する



かには会話しながら料理を堪能。豪華景品が用意された大抽選会もあり、協賛企業からのランニングセットや食べ比べセット、白金温泉ペア宿泊券をはじめさまざまな景品で参加者を喜ばせた。最後は道北陸上競技協会の宮本備会長が「がんばろう」と乾杯の発声。参加者たちは英気を野菜なう明日の競技に向け士気を高めた。



人も元気になる、そんな大会になれば、感謝して走りたいと話した。立食形式での交歓会には200人ほどが参加。賑やかに